

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	環境局 環境首都推進室
評価対象期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日

1 指定概要

施設概要	名称	北九州市環境ミュージアム	施設類型	目的・機能
	所在地	八幡東区東田2-2-6		
	設置目的	公害の克服の過程、環境の保全、環境への負荷の低減に資する技術等に関する資料を収集し、保管し、及び展示し、並びに環境の保全に関する学習及び交流の場を提供することにより、市民の環境の保全のための活動を促進し、もって環境の保全に資するために設置する。		
指定管理者	名称	財団法人タカミヤ・マリバー環境保護財団共同事業体		
	所在地	八幡東区前田企業団地1-1		
指定管理者の業務内容	(1) 管理施設の利用許可に関する業務 (2) 管理施設の利用に係る利用料金の徴収に関する業務 (3) 管理施設等の維持管理に関する業務 (4) 前各号に掲げるもののほか、市又は指定管理者が必要と認める業務			
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日			

2 管理運営実績

	目標(計画)	実績	要因・原因分析
施設の設置目的の達成状況	北九州市の公害克服の歴史を伝えと共に、世界の環境首都を目指して循環型社会を創るための市民の環境学習・環境活動・環境情報の総合拠点とすることを目的とする。	ほぼ計画通り遂行している。	民間企業であることのメリットを最大限に活かし、市と指定管理者との連絡・調整もうまくいっているため。

利用者の満足度	利用者にとって親しみやすい施設とし、より質の高いサービスを提供する。	入館者からはかなり満足度が得られている。	入館者アンケートによれば、指定管理者の企画するプログラムや体験型環境学習に満足している。
収支状況	施設の利用促進と経費の削減(管理コスト)に努める。	ほぼ計画通り達成している。	集客に向けて、独自のイベントやプログラムの充実を図っている。

3 評価結果

評価項目及び評価のポイント	
1	<p>施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取り組み</p> <p>(1) 施設の設置目的の達成</p> <p>計画に則って施設の管理運営等が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか(目標を達成できたか)。</p> <p>施設の利用者の増加や利便性を高めるための取り組みがなされ、その効果があったか。</p> <p>周辺施設間の有機的な連携が図られ、その効果があったか。</p> <p>施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。</p> <p>〔所見〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設を最大限に活用して、入場者の増加、講座などプログラムの増加により本市環境学習の拠点としての機能を高めることができた。年間入館者数は、過去最高の129,545人を記録した。 <p>(2) 利用者の満足度</p> <p>利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。</p> <p>利用者の意見を把握し、それらを反映させる取り組みがなされたか。</p> <p>利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。</p> <p>利用者への情報提供が十分になされたか。</p> <p>その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。</p> <p>〔所見〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケートによれば、95%以上が満足。ホームページやニュースレターの充実などによる情報発信も十分に行っている。特に、学校の授業として行うプログラムは高く評価されている。
2	<p>効率性の向上に関する取り組み</p> <p>(1) 経費の低減</p> <p>施設の管理運営に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。</p> <p>清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がな</p>

	されたか。
	〔所見〕 ・積極的にサービス提供の意識を持ち、花壇の整備や無駄を省く工夫をしている。
	(2) 収入の増加
	収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。
	〔所見〕 ・ホームページを始め、各種広報活動にも力を入れ、入館者数増加に向けて努力が見られた。また、夏休み特別企画展として自転車展を開催する等、ユニークな取組みも見られた。
3	公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み
	(1) 管理運営の実施状況
	施設の管理運営にあたる人員の配置が合理的であったか。
	職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか (管理コストの水準、研修内容など)。
	地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。
	〔所見〕 ・人員配置、研修等についても前向きに取り組んでいる。また、周辺施設との連携し、ゴミ拾いを行う等、地域周辺の美化活動にも積極的に取り組んでいる。
	(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など
	施設の利用者の個人情報を守るための対策が適切に実施されているか。
	利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
	施設の管理運営に係る収支の内容に不適切な点はないか。
	日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
	防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
	事故発生時や非常時の対応などが適切であったか。
	〔所見〕 ・利用者に対しては平等、適切に対応し、防災訓練や連絡体制の確立等、適切に実施されていた。

【総合評価】

〔所見〕 ・初年度ということもあり、お互い十分な意思疎通を図り、施設の効果的な維持管理に努めることができた。 ・指定管理者制度初年度にして、年間来場者数が開館以来最高になる等、好ましい結果であった。アンケート結果も良好である等、来館者の評価も高い。 ・今後もさらに、来館者ニーズに的確に応え、自主事業の企画や集客に向けた取組みを強化し、来館者満足度の高い施設となることを望む。
